

道教組

2019年5月8日発行

DOKYOSO NEWS VOL.543

教職員とその家族を守る
全教自動車保険

5つの特徴

- ①無事故割引を引き継ぎます
- ②団体扱い割引を10%に拡大
- ③家族の車もまとめるとさらに割引
- ④退職者もメリット引き継ぎで安心
- ⑤申し込んだその日から安心

有限会社 川上企画

(道教組指定代理店)

札幌市中央区大通西12丁目4-78

TEL:0120-222-789 FAX:011-218-2472



一人ひとりが
大切にされる
教育を

■小・中・高・特別支援学校を含め、すべての学校の教職員の1日あたりの実勤務時間は、通常時でさへ平均11時間17分(所定時間は7時間45分)で、1か月あたり平均77時間44分の時間外勤務です。

■教職員のゆとりと健康あってこそ、子どもたちの成長・発達です。教職員の大幅増員を求める声をひろげてください。



なくそう長時間労働
ふやそう
せんせい。

せんせい ふやそう

スマホのバーコードリーダーをかざすと署名の画面になります。



せんせい ふやそうキャンペーン実行委員会

連絡先: 〒102-0084 東京都千代田区二番町12-1

全国教育文化会館3階 全教気付

TEL: 03-5211-0123 FAX: 03-5211-0124

E-mail: sensei.fuyasou2019@gmail.com

ネット署名に
change.org
ご賛同を!

**長時間労働をなくすために
せんせいをふやそう!**

過酷な長時間労働の解消は、
教職員を大幅に増やしてこそ

文科省調査では、小学校教員の3割、中学校教員の6割以上が過労死ライン(1か月の時間外勤務の平均が80時間以上)を越えて働いています。厚労省「過労死等防止対策白書」で

は、高等学校や特別支援学校等を含めたすべての学校の教職員1日あたりの実勤務時間は、通常時でさへ平均11時間17分(所定の勤務時間は7時間45分)で、時間外勤務の平均は1か月あたり77時間44分にもなります。教職員のゆとりと健康あってこそ、子どもの成長・発達です。教職員が所

定の勤務時間の中で、子どもたち一人ひとりにしっかりとよりよい、教育本来の仕事ができるようにすることは、教職員の働き方の問題であるとともに、子どもたちの学校生活に関わる教育案件の問題でもあるのです。

学校生活がますます過密になっています。道教組は、一人ひとりが大切にされる教育がおこなえるよう、持ち授業時間の上限設定や一人あたりの業務量を減らすための抜本的な定数改善を求めています。

**「せんせいふやそう」の
ネット署名をひろげよう**

道教委による「学校における働き方改革『北海道アクション・プラン』」のとりくみが始まって1年以上が経過していますが、教職員の働き方が楽になったとの実感は広がっていません。学校の過酷な長時間労働は、もはや業務改善や意識改革だけで解決される状況にはありません。

国は、文科大臣でさえ「勤務が縮減されるわけではない」とした「1年単位の變形労働時間制」の導入をめざし、今秋の臨時国会において法「改正」が提案されるのではとされています。

道教組は、教職員定数の抜本的な改善によって教職員の長時間過密労働を解消することをめざし、大きな世論を広げるため、「せんせいふやそう」のネット署名を呼びかけています。QRコードを読み込んで、2回のタッチで署名は完了です。各地で、ネット署名のとりくみを大きく広げてください。

ネット署名は、 たった2タッチで完了

1 スマホのバーコードリーダーをかざすと、署名の画面になります。



2 「今すぐ賛同」をタッチします。

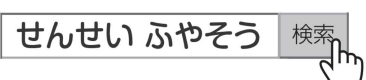


3 名前やメールアドレスなどを記入し、「今すぐ賛同」をタッチします。



パソコンの場合

1



「せんせいふやそう」で検索します。



2

「キャンペーン 長時間労働をなくすため…」をクリックします。



3

名前やメールアドレスなどを記入し、「今すぐ賛同」をクリックします。



署名に寄せられた「ひとこと」を紹介します

○先生がラクをしたいわけではありません。子どもたちのために、先生を増やしてほしい。

○すべての子どもたちのために、そして、私たち教職員自身のために、教職員を増やしてほしいです。

○ゆとりを持って子どもたち一人ひとりにしっかりと向き合える時間をつくるためには、先生の人数をどんどん増やさなければなりません。教育は未来への投資。国家予算をたくさん教育にまわしましょう！

○日本の教育は先生方の献身的な努力の賜物として成り立っています。やる気

○私も教員です。子どもの食事は週末に作って、9時10時に帰宅します。小学校でこの状況。学校でも家庭でも、もっと子供の話を聞いてあげたいです。

○ついにこの動きが。非常に重要だと思います！

○教員の働き方改革は、先生の数を増やすこと無しには実現しません。授業時間の削減も必要です。

○学校の先生と子どもたちが互いに元気にかかわれることができ、互いに豊かに学び成長できる環境は、先生の長時間労働の改善なしにはあり得ません。

